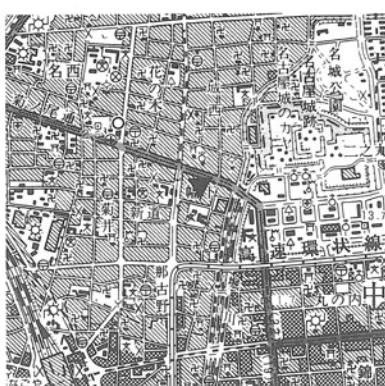


## 愛知・貞養院遺跡

ていよういん

1	所在地	愛知県名古屋市西区幅下一丁目
2	調査期間	二〇〇一年(平13)一月～三月
3	発掘機関	名古屋市教育委員会・名古屋市見晴台考古資料館
4	調査担当者	水野裕之
5	遺跡の種類	近世城下町跡
6	遺跡の年代	江戸時代
7	遺跡及び木簡出土遺構の概要	



(名古屋北部)

貞養院遺跡は、台地上の名古屋城三之丸の西側にあたり、堀川を挟んだ沖積低地に立地している。名古屋城下町遺構が主体の遺跡で、當時は武家地と町地となつていたところである。遺跡のすぐ南側には、寛文三年(一六六三)尾張藩主二代光友のときに計画され、江戸時代の上水道であった「巾下水道」の遺構が検出された幅下遺跡が隣接している。